



石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

第97回(今年度第1回) 2019年5月10日(金)14:00～ 於:市庁舎401会議室



議 事

1. 議長挨拶

2. 経過報告

4月18日 教育長へ挨拶(白書を教育長へ手交しました)

4月19日 石教振研究協議会(連携会議役員の確認)

3. 2019年度役員体制の確認(4月19日石教振部会で確認済み)

議 長 村 井 誠 (石狩中)

事務局長 斎 藤 大 輔 (花川南中)

次 長 高 松 健 輔 (花川中)

次 長 神 尾 萌 (花川南小)

研究グループ代表 富 永 有斗理 (厚田小)

調査研修グループ代表 山 崎 綾 菜 (花川小)

予算要望グループ代表 三 浦 然 愛 (樽川中)

※上記の他石狩市公立小中学校事務職員協議会三役(会長・事務局長・事務局次長)をもって役員会を構成します。

4. 学校間連携のとりくみを始める前に・・

石狩市ではじめて勤務する人は、ご確認ください。

すでに石狩市で勤務している人も、今一度確認しましょう!

石狩市の協議会と連携会議の関係について、協議会の事務局は研修と親睦を中心に対外の折衝を中心とした事務局運営を進めていく事とし、連携会議の事務局は、学校事務業務推進のための共通理解と実践の場としての連携会議を各部の部長や部員と共に運営して行くことを念頭に置いて進めていきます。このことを踏まえ、今年度も例年同様に協議会の事務局と協力体制を確立し、連携会議を運営します。

5. 2019年度の具体的取り組みについて～<別紙1>

6. 各グループ活動計画について～<別紙2>

7. 「令和2年度石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について～<別紙3>

8. 実践交流☞本日は行いません。

財政財務活動にかかわる実践や事務だよりやホームページ作成等の情報発信の実践はもちろんのこと、学校の中で事務が関わって『これまでのとりくみを変えてみた』という実践の発信を行っていききたい。

9. 連絡事項

(1) 会議日程等の連絡方法について

①連携会議に関する連絡・資料提出等は原則として電子メールを利用します。

※会議案内や議案は学校アドレス宛てに送信します。

②連携会議の公式メールアドレスは、 i-nanchu@educet.plala.or.jp（花川南中学校アドレス）とします。市内事務職員への配信メールはグループウェアメール isk-hanakawaminami-chu-3@hokkaido.school.ed.jp を使用しています。提出物などの送信はグループウェアのメールアドレスにお願いします。

(2) ホームページの活用について

①会議案内や会議資料については、後日連携会議ホームページに掲載するので、いつでも確認することができます。ホームページアドレスは <http://irenkei.sub.jp> です。

②ホームページの中の「会員のページ」に入るにはパスワードが必要です。

③ホームページには掲示板も設置しています。

※HPの更新は、事務局次長（花川中高松さん）にお願いしています。

(3) 日刊連携会議の活用について

連携会議の振り返りや事務職員にかかわる教育情勢等を広く伝えられるよう、広報誌として『日刊連携会議』を作成し、情報の発信を行っていきます。

(4) 「石狩市公立小中学校の概要」（HP掲載資料）の更新について<別紙4>

今回お配りしたデータを使用し、作成願います。数字が変更になった部分を訂正の上、事務局次長（花川南小学校神尾さん）までメールを返送願います。

※返信時、ファイルに学校名を付けて下さい。

<別紙1> 2019年度の具体的とりくみについて

事務局が変わり2年目となります。昨年度は日常実践もさることながら、地震等の自然災害もありました。様々な観点から「事務職員としてできることを探る」ことを連携会議で行っていきましました。すべてを解決に導けるのが理想ですが、解決の糸口を一人ではなくみんなで考えていくこと、学校で普段行っている仕事や業務の中で感じた疑問を出して試してみることが重要です。今年も石狩市の学校間連携会議では『石狩市子どもたちのために、できることからはじめよう』を合言葉にし、会をすすめていきたいと考えます。

その柱として、①子どもの学ぶ権利の保障、②生活の場としての学校づくり、③市内各校事務職員が連携して取り組む（学校事務の確立のため）、の3点を掲げ、活動を推進していくこととします。また、昨年度から話をしています「事務をつかさどる」事務職員の標準職務の動向、改正地教行法による「共同事務室」設置の動向を意識しながら、以下の通り具体的なとりくみを行っていきます。

(1) 学校財政と学校事務の状況調査

①学校徴収金調査及び財政財務活動の具体的展開の交流

i 学校徴収金調査☞『PFシート』による調査、私費を含めた学校財政状況の把握、資料化

全道協議会で提起されている「PFシート」を利用し、学校財政全体を把握し、公費負担増額と保護者負担軽減につなげる観点で実施します。3年目となりますので、今後の展開について、方向性を導きたいと考えます（予算要望委員会資料とリンク等の検討）。

ii 財政財務活動の具体的展開の交流☞各学校の予算編成・執行状況・決算書の交流による財政財務活動の具体的展開、それに伴う保護者負担の公費化（軽減）に向けた取り組み状況の交流、予算要望

実践交流として各学校の決算予算書を交流します。提案時に気をつけている事・必ず伝えておくこと（ポリシー等々皆さん何かしらありますよね）や複数年で計画している事など、学校内での取り組み状況を可能な限り交流するとともに、資料化を検討します。

②学校事務業務実態調査

「つかさどる」に係わり「マネジメント」の考え方と私たちの現状を対比させながら、職務について考えるための調査を実施します。関連してミッション加配の業務の現状や課題についても交流を深めます。

③その他の調査

メンバーの要請や新たな課題の発生など、必要に応じて種々の調査を実施します。

(2) 提言について

これまでの調査活動や実践交流等で明らかになった課題から、重要な課題や私たちの取り組みを集中する必要がある事項について「提言」を行います。

(3) 予算要望について

石教振事務部会の委託により、予算要望資料作成を行います。資料内容の検討は予算要望グループ会議の議論を経て、連携事務局として具体的作業を提起します。

基本的には、全道・石狩事務職員協議会の基本方針である子どもの教育権（学習権）保障の観点を重視し、保護者負担の軽減・公費化につながる予算要望となるよう留意します。

(4) 実践交流について

今年度も学校財政財務活動の実践として各校の予算編成を中心に実践交流を進めます。また、市事協の委託により研究部と一体的に石教研二次集会及び石事協研究会レポート作成にとりくみます。

(5) その他

申し合わせ事項として、市事協・連携会議の双方はお互いの活動や取り組みをそれぞれの活動や取り組みとして発表・報告することを可とします。

<別紙2>各グループの活動計画について

本日は各グループ代表のレジュメに沿って、グループ毎に年間計画について協議して下さい。
確認された年間計画については、次回連携会議で全体確認をします。

<別紙3>「令和2年度石狩市教育予算要望書」に向けた具体的作業について

1. 2018年度の取り組み状況と反省について～第96回連携会議議案を参照してください
2. 2019年度のとりくみについて
2019年度の基本方針と具体的要望内容等については、予算要望グループで原案を作成し次回連携会議で決定します。
3. スケジュール
 - (1) 予算要望グループ会議（原案審議）5月10日
 - (2) 基本方針と具体的作業の確認・・・6月13日第98回連携会議
 - (3) 各学校の資料提出夏休み前を目途とします
 - (4) 提出資料の確認 9月2日（月）第100回連携会議を予定